

第2回「書くことは楽しい in 奈良」

～墨・筆・紙・ITでこんなことができる～

平成20年11月6日(木)～11月9日(日)

11:00～18:00(最終日15:00)

なら工芸館 奈良市阿字万字(あぜまめ)町1-1

(<http://www.eonet.ne.jp/~naramachi/>)

書は3千年の歴史があり、筆、墨、紙の文房三宝の技術に支えられ、発展してきました。しかし昨今は、ペンやパソコンを使うことが多く日本の伝統文化でありながら生活様式から遠ざかりつつあります。IT社会において「書」が新しい形で発展し続けることを願って、奈良にゆかりのある三宝をめぐる匠の技を紹介ながら、書の基本を押さえつつ、書を楽しむことを伝えていく作品を展示し、奈良の伝統文化である書道を日常生活に普及させる課題に挑戦します。

是非お立ち寄りください。

展 示 コ ー ナ ー

- 奈良にゆかりのある三宝をめぐる匠の技の紹介
- 作品展示(～墨・筆・紙・IT技術でこんなことができる～)
 - (1) 学生等による書くことが楽しくなる作品
 - (2) デジタル書作家による作品
 - (3) アート書道に属する作品



主 催 特定非営利活動法人 奈良21世紀フォーラム

(<http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf>)

協 力 奈良女子大学書道部、デジタル書作家協会、奈良製墨協同組合、奈良毛筆協同組合、(有)ハイパーワークス

関連事業 奈良工芸フェスティバル2008

問合せ先 特定非営利活動法人 奈良21世紀フォーラム

〒630-8357 奈良市杉ヶ町33-3

F A X / T E L 0742-24-4766

第2回「書くことは楽しい in 奈良」

開催報告と今後の活動

「書」が、IT社会において新しい形で発展し続けることを願って、奈良の文房三宝をめぐる奈良の匠の技を紹介ながら、書の魅力を再発見してもらおうと11月6日から9日まで奈良市のなら工芸館で開催しました。この期間中外国人4名を含め284名の方々が訪れました。正倉院展に合わせた奈良工芸フェステバルに参加したせいか、奈良県の方より他県の方が多く来られました。沖縄や関東からお越しの方、外国からの観光客4名など来館者は多方面に亘りました。51作品の展示があり、前回に比較して盛況でした。またデジタル書に対しても、3名の方が大阪の体験会に参加したいとパンフレットを持っていかれました。初めて奈良在住のデジタル書作家が現れる！との、期待を持った次第です。このように広がりが見られるようになったことはなら工芸館のスタッフの方々始め関係者のご支援の賜物と感謝しております。

墨・筆の技術革新で古典的な書が奈良で発展したように、IT社会においても、書の新しい形で展開していき、書の文化の中心であり続けるようにしたいものです。そのためにこのイベントを継続していくことが大切であると思っています。

(1) 奈良にゆかりのある文房三宝をめぐる匠の技の紹介

・奈良毛筆協同組合による奈良の匠の技を示す画筆、奈良筆など約12点やその材料の毛、その製作工程パネル展示

・奈良製墨協同組合による奈良の匠の技を示す各製墨会社の芸術的な名墨約20点、とその製作工程パネル展示

・「究極の墨の色を求めて ～古都奈良の墨づくり～」の上映による墨文化の紹介（デジタルコンテンツ協会の助成で制作した伝統産業アーカイブ）



(2) 作品展示

～墨・筆・紙・IT技術でこんなことができる～

3つのジャンルに分けて展示

デジタル書作家協会の作品5点

デジタル書とは筆などで書いた文字をスキャナーあるいはデジタルカメラでパソコンに取り込んでデジタル化した後、画像処理ソフトを使って、彩色したり、他の画像と合成したりして得られる、「書」の新しい表現形式。



自筆の作品を世界に発信できるブログ

自筆文字をフォント化（電子書体）し、「画像」でなく縦書きスクロールできる「漢字・仮名文字」として世界の人々に発信できるシステム。（有）ハイパーワークス



書くことが楽しくなる作品

奈良女子大学、京都大学、東京学芸大学と一般県民などの作品 46 点。

各作品には作品名、作者、作品制作に至るコメントを付けた。

